

株式会社 フジドリームエアラインズ
運輸安全委員会による航空重大インシデント調査報告書の公表について

2023年12月21日

2022年5月20日(金)に発生した弊社7994便に関連する航空重大インシデントについて、国土交通省運輸安全委員会による調査報告書が公表されました。航空重大インシデントの概要等は、以下のとおりです。

【航空重大インシデントの概要】

2022年5月20日(金)、フジドリームエアラインズが運航する弊社7994便(チャーター便：広島→茨城)は、茨城空港への着陸に際し、管制より着陸許可を得て着陸進入中に、管制より着陸復行の指示が出されたため、着陸復行を行いました。

その後、同滑走路に航空自衛隊所属の滑走路設備の点検車両が存在していたことが判明したため、航空法施行規則における「他の航空機等が使用中の滑走路への着陸の試み」に該当し、国土交通省航空局より、航空重大インシデントと認定されました。

【原因等】

本件に対して、国土交通省運輸安全委員会による調査が行われ、2023年12月21日(木)、航空重大インシデント調査報告書が公表されました。

同報告書によると、管制官は、点検車両が立入り許可を受けて滑走路およびその周辺において施設の点検を行っていた際、弊社機に同滑走路への着陸を許可したとされています。点検車両が存在する滑走路への着陸許可の発出の原因について、点検車両による滑走路立入りが包括的に許可されてから約40分間、同車両との無線交信が発生しなかったという背景等から、同車両が当該滑走路及びその周辺に立入り中であつたにもかかわらず、管制官が同車両の存在を失念した事によるものと推定されています。

【弊社における影響】

当該便については、本件発生時に着陸復行の管制指示を受け、着陸をやり直し、およそ10分後に同空港に着陸しました。予定到着時刻から大きな遅延も生じず、その他、乗客・乗務員・機材ともに影響ございませんでした。

弊社としては、今回の重大インシデントを受けて、確実な安全運航を遂行するため就航各空港における飛行場管制機関との密なコミュニケーションに努めてまいります。

私どもフジドリームエアラインズは、これからも安全運航を最優先に、お客さまに安心・快適にご利用いただける輸送サービスを提供すべく、努力を続けてまいります。

以上
